



～ 地域で生きる人になる～

いずよう魅力化協議会だより

No1 令和4年7月21日

島根県立出雲養護学校

第1回魅力化協議会を開催しました

6月23日(木)、今年度第1回の「いずよう魅力化協議会」(学校運営協議会)を開催しました。13名全員の委員様、教職員18名、生徒6名が参加しました。

委員様のご紹介

| | | |
|-----|-------|----------------|
| 会長 | 西村 健一 | 島根県立大准教授 |
| 副会長 | 宇谷 留美 | 前PTA会長 |
| 委員 | 赤木 亮一 | 神西コミュニティセンター長 |
| | 稲根 克也 | 出雲観光協会事務局長 |
| | 片岡 久 | さざなみ学園長 |
| | 神田 陽二 | 三刀屋文化体育館アスパル館長 |
| | 須谷 紀子 | 出雲サンサン保育園長 |
| | 陶山 明子 | PTA会長 |
| | 武部 豪 | 馬路地区観光振興協議会事務局 |
| | 堀西 雅亮 | 島根県外国人地域サポーター |
| | 松下 怜司 | 麺屋松代表 |
| | 森山 和子 | Office Sou 代表 |
| | 山根 浩 | 神戸川太鼓やまびこ代表 |

(五十音順)

敬称略)

委員様の自己紹介にあたり、それぞれの日頃の活動や本協議会への思いを自己紹介シートにまとめていただきました。お一人お一人の人柄や思いを知ることができ、とても心強く感じました。委員の皆様、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



学校案内

地域サービス班の生徒が学校案内をしました。会の目的を意識しながら、説明を行いました。

学校運営方針、学校評価について

今年度第1回目開催ということで、校長より、グランドデザイン、学校経営プランについて説明し、承認をいただきました。また、教頭より、本年度の学校評価の取組について説明しました。



グループ協議

【テーマ】
授業実践をもとに、地域と学校の
WIN - WIN の関係について考えよう！

出雲養護学校の目指す児童生徒像は、「地域で生きる人になる」です。この姿を目指すためには、地域とWIN - WIN の関係を大切にしながら授業実践を進めることが大切だと考えています。

地域の方との連携が、「学校の一人よがりになっていないだろうか。」「地域の方にとっての本当のWINとは、何だろう。」日々、そんな疑問も浮かびます。

そこで、今回は、「WIN - WIN の関係」に視点をあててグループ協議を行いました。

＜グループ協議の進め方＞

- ① 地域と連携・協働する授業実践の報告
- ② 協議
 - ・この授業の地域の方のWINは？
 - ・もっとお互いのWIN-WINが実現するためにすることは？
 - ・この授業は地域生活にどのように発展する？
- ③ 各グループからの報告

以下に、それぞれのグループの実践紹介・協議の様子を紹介します。

＊＊ 小学部・肢体不自由グループ ＊＊

◇実践紹介

小学部：神西小学校との交流及び共同学習

肢体不自由部門：校外学習

◇協議で出された主な意見

- ・外出をして地域の方に見てもらうことが大切。
- ・小学部の子どもは、誰が見てもかわいい。地域の方にとっては、会うだけでWINになる。

＊＊ 中学部・みらい分教室グループ ＊＊

◇実践紹介

中学部：和太鼓に挑戦しよう

島根オリジナルアジサイを育てよう

みらい分：神西湖しじみ漁見学体験

◇協議で出された主な意見

- ・地域のWINは、生徒が地域の宝や課題を知ること、生徒とのつながりや信頼関係ができること。
- ・子どもたちが地域で活動すること自体がWIN。

＊＊ 高等部・寄宿舍グループ ＊＊

◇実践

高等部：地域の課題を解決しよう

寄宿舍：地域ゴミ拾い活動

◇協議で出された主な意見

- ・普段入りにくい学校のことを知る貴重な機会になる。
- ・共生社会を創っていくことを考えるきっかけになる。
- ・地域美化になる。

＊＊ 雲南・邇摩・大田分教室グループ ＊＊

◇実践紹介

雲南分：ボランティア活動

邇摩分：邇摩高との交流

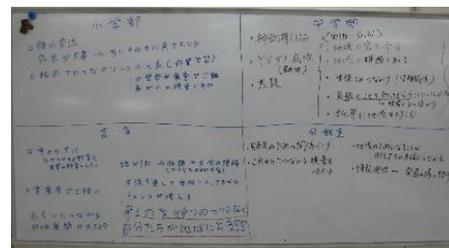
大田分：わたしたちのSDGs

◇協議で出された主な意見

- ・地域でできることについて分教室から声をかけてもらいたい。
- ・学校の取組をプロデュースしたい。
- ・「子どもたちのために」が一番大切！

＊＊ 西村会長より ＊＊

- ・地域の方は、今日のグループ協議で出たことをぜひ実現してほしい。
- ・学校は、どのように指導に繋げていくかを検討してほしい。



おわりに（校長あいさつ）

地域の方々にとってのWINとは、知ってもらうこと、見てもらうこと、地域で活動することであると言って頂いたことは、学校で進めようとしている地域と連携した授業づくりへの大きな後押しとなりました。

今後は、「学校は、どのように指導に繋げていくとよいか。」という問いを宿題として、教職員一人一人が実践していきたいと思っています。

次回開催は、11月17日（木）です。